

「先輩たちに聞いてみました!」



2026 版

✿ A 保育士 45歳

(一時預かり支援員として2年10か月、その後ショート一般保育士として2年)

Q. 保育士の資格を取ろうと考えたきっかけは?

A. コロナ禍に子育て支援員の資格を取り、一時支援員として働き始めたことで、保育士を目指してみようと考えました。

Q. 就職するにあたって不安は?

A. お子さんの命を預かる仕事なので、実務経験のない自分に対応できるか、経験者ばかりの中でやっていけるか不安でしたが、周りの先生に助けられながら支援員として勤める間に徐々に解消できました。支援員から保育士になった時も同じ園での勤務だったので、それまでに築いた良好な人間関係に助けられて早々に不安は和らぎました。

Q. 保育士になってよかったと思うことややりがいは?

A. お子さんたちの成長を身近で見守る中で、お子さんが描いた絵をくれたり、笑顔で「せんせいだいすき」と言ってもらえたりすることがうれしく、やりがいに感じています。

✿ B 保育士 26歳

(ショート一般保育士として2年勤務後、産育休を経て育休復帰1年)

Q. 育児休業を取得することへの不安は?

A. 取得する前は年度途中に休みに入ることによってクラスに迷惑をかけてしまうという思いがありました。復帰後も自分の子どもが小さいので、体調不良で急な早退や休みをいただくと迷惑をかけるのではないかと不安になります。

Q. 育休復帰をして(就労を継続して)良かったと思うことは?

A. 登園時に我が子が泣くと、寂しい思いをさせているのではないかと不安で、日中は元気に過ごしていると聞いても心配になります。それでも、そうした思いも含めて自分の子育ての経験が保育に活かしていると感じます。生活のタイムスケジュールが変わり、時間の使い方の意識を変えたり、配偶者にも協力してもらったりして子どもとの時間や自分の休息時間を作っています。今年から就労時間を増やしたことで、クラスのお子さんたちとの信頼関係もでき、安心感につながっているように思えます。周りの先生方にも気遣いの言葉をもらったり、助けてもらったりして感謝しています。